



宇治市議会議員

Yohei Kadoya Municipal Administration Report

宇治、ずっと住みたいまちづくり。

かどやNEWS

市政報告

[発行] かどや陽平
〒611-0021
宇治市宇治琵琶33番地 うじ未来 会室内
E-mail:yohei.kadoya@thevert.net

2021.03
vol.05

令和3年3月議会にて一般質問を致しました。今回は新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施、HPVワクチン定期接種、公立小中学校の教育ICT化、市内企業・事業者支援、里山の集落地について質問をしました。

このNEWSでご報告できなかった内容についてはホームページに記載しております。是非とも皆様の率直なご意見をお聞かせください。



令和3年 3月定例会 [一般質問]

1 子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)定期接種について

質問・要望 HPVワクチン定期接種については、実施の主体である市町村に対して、対象となる小6～高1相当の女子と保護者へ個別通知をするよう、厚生労働省からの依頼が令和2年10月9日に出されました。これを受けた宇治市の対応を質問し、またHPVワクチンについての啓発と、個別通知がなかったために接種機会を逃した市民が自費で任意接種を行った際の助成を要望しました。

答弁 通知を受けて、令和3年4月から定期接種の対象から外れてしまう高校1年生相当の女子とご家族に迅速に個別通知および情報提供を行った。HPVワクチンの啓発については、市政だより・ホームページ・個別送付による情報提供とともに、より効果的な情報提供についても検討する。任意接種への助成は現在のところ検討していない。

令和2年9月定例会、昨年の決算委員会に引き続き、HPV(子宮頸がん)ワクチンの定期接種について再び質問・要望をしました。今回は、偶然にも国際HPV啓発デーである令和3年3月4日に質問を致しました。

前回のかどやNEWS Vol.04でもお知らせを致しましたが、HPVワクチンについてはまだまだ知られていないため、再度その概要についてお知らせします。詳しくは厚生労働省ホームページ、また日本産婦人科学会ホームページをご覧ください。

日本産婦人科学会の「子宮頸がんとHPVワクチンに関する最新の知識」によれば、日本では子宮頸がんは年間約1万人が罹患し、約2,800人が死亡しています。また近年50歳未満の若い世代での罹患が増加しており、39歳以下で年間約150人、44歳以下で年間300人が死亡しています。またこの数は「子宮がん」として子宮体がんとは区別できない統計上の数は除外されており、実際の子宮頸がんの死亡者はもっと多いといわれています。

子宮頸がんの95%以上はHPVが原因であり、内、日本においては子宮頸がんの60～70%はHPV16・18型によるとされていますが、これらに対して2価・4価ワクチンともほぼ100%その感染を予防することができます。接種した本人だけでなく集団免疫を確立し、接種をしていない方への効果も期待されています。また昨年には9価ワクチンも承認されました。

残念ながら、日本においては2013年4月からこのワクチンは定期接種化されたにもかかわらず、厚生労働省が2013年6月に積極的勧奨の一時差し控えとともに、対象となる小6～高1相当の年齢の女子とその家族へ、接種方法・場所、対象期間などを個別に郵送で知らせる個別通知を、定期接種の実施主体である市町村に求めないこととしていました。

そうした中、厚生労働省はようやく令和2年10月9日に個別通知による情報提供を実施するように各市町村に求めることとなり、

HPVワクチンについての情報・個別通知がないことで定期接種の機会を逃した市民が任意、自費で接種をした場合の助成を昨年の決算委員会に引き続き要望しました。市町村が、任意の予防接種に対して助成することは法的には問題ありません。例えば、大阪市では新型コロナ禍を受けての措置ではありますが、HPVワクチンについて接種時期を1年延長し、高校2年生相当の女子まで公費で接種ができるようにしています。こうした助成などの支援策については引き続き要望してまいりたいと思っております。



厚生労働省
HPVワクチン



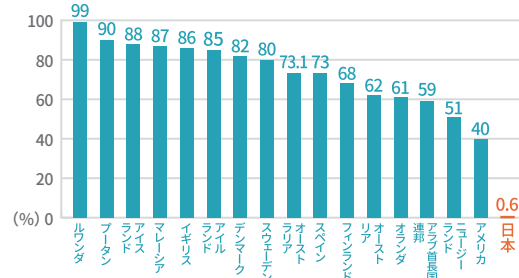
日本産婦人科学会



令和3年1月26日に再度、依頼を出しました。

しかし、いまだ個別通知と併せて予診票を送付するなどの「積極的勧奨」は求められていません。また、7年以上も個別通知が行われず、HPVワクチンへの理解・周知が進まなかったため、日本におけるこのワクチンの接種率は極めて低くなっています。(世界での接種率はグラフをご参照下さい)

日本においては予防接種を受けることについては、法的効力のない努力義務しかありません(予防接種法第9条)。そのため、接種するかどうかは本人(と家族)が決める必要がありますが、少なくとも市町村は正確な情報提供、特にワクチンのメリットとデメリットの周知に努めなければなりません。私も積極的な「啓発」を市に引き続き求めてまいります。



各国の子宮頸がんワクチン接種率

日本産婦人科学会「子宮頸がんとHPVワクチンに関する最新の知識」より

かどやVOICE



2 高齢者施設での新型コロナワクチン接種体制について



質問・要望 新型コロナウイルスに感染すると重症化リスクの高い高齢者がお住まいの高齢者施設単位でのワクチン接種、また、「高齢者施設の従事者における接種順位の特例」に基づき、施設従事者への予防接種を高齢者と同時期に行うのか、質問をしました。高齢者施設単位で、従事者も含めてワクチン接種を進めることは、施設内クラスターを防止するために極めて有効な方策であるため、積極的な検討を要望しました。

答弁 効率的な接種と接種後の健康観察の重要性を念頭に、施設の特徴を踏まえたうえで、医師会と協議をしながら、施設単位での接種について検討している。施設従事者への高齢者と同時期の接種についても、ワクチン供給量を見据えながら、検討を行っている。

※質問をしたのは令和3年3月4日ですので、宇治市における新型コロナワクチンの最新の状況については市公式ウェブページでご確認をお願い致します。

宇治市ホームページ「新型コロナワクチン接種について」



3 教育ICT化の点検・評価・検証と教育格差について



質問・要望 小中学校教育のICT化について、教育用タブレット(一人一台端末)の活用など様々な施策の成果を、いつの時点から点検・評価・検証できるのか質問をしました。また、教育ICT化の計画がないためにICT機器導入・活用について学校間格差が生じる可能性、個別最適化された学習によって児童ごとの「生まれ」による学力格差が拡大する可能性についての懸念を伝え、市の対策を確認しました。

答弁 教育ICT化にかかわる点検・評価・検証等、現時点で示すことのできるものはないが、各校の現状を把握し進捗状況を確認する中で、国や近隣市町村の状況を踏まえ検討する。学力格差や学校間格差が生じないように、これまでの対面指導による教育活動と、家庭や地域社会と連携したオンラインによる教育活動を組み合わせたハイブリット化による教育の質の向上に取り組む。

かどや
VOICE

教育ICT化格差の一例として、新型コロナ禍による休業期間中にオンライン教育を受けたかどうかは、世帯収入や親学歴及び地域といった子ども本人が変えられない「生まれ(SES*)」によって、格差があることが指摘されています(多喜弘文 松岡亮二「新型コロナ禍におけるオンライン教育と機会の不平等」)。ICT機器に触れられる時間、ネット環境に出身階層による格差が残る可能性、出身階層とICT機器利用の親和性・利用意欲に差があることにより、また、教育ICT化計画が示されないことによる学校毎の教育ICT化の進捗差により、教育ICT化がかって児童・学校ごとの教育格差を拡大する懸念があります。

また、児童ごとの「個別最適化」がSESに規定された児童生徒の条件に従ってAIに提案される学びが、児童の学力格差を拡大させるのではないかと指摘もあります(多喜弘文「ICT導入で格差拡大 日本の学校がアメリカ化する日」中央公論2021年1月)。

宇治市の教育ICT化の取り組みは、まだまだこれからです。しかしすでに教育ICT化推進計画や情報化推進計画を策定し、目標やスケジュール、各種施策を明確に示している市町村は数多くあります。宇治市においても教育ICT化がもたらすものについてしっかりと点検・評価・検証ができるように、また、そもそも学校格差や学力格差が生じているのかどうか、指標によって検証できる仕組みをつくれるように、引き続き要望をしております。

魅力的で先進的な公教育は、子育て世帯の宇治市への転入促進を促す最も効果的な施策だと考えています。



*SES(Socio-Economic Status)とは経済的、文化的、社会的要素を統合した地位、出身階層のことで、教育社会学などの社会科学で用いられる概念。例えば、世帯収入、親学歴、文化的所有物などの変数、もしくはそれらを合成した指標のこと。

4 市街化調整区域にある里山の集落地について

質問・要望 市街化調整区域となっている里山の集落地では少子高齢化や人口減少が市内以上に加速しており、住宅新設が困難な現行の都市制度のもとでは、新たな住民の受け入れがむづかしく、地域コミュニティを持続的に維持しがたくなっている。里山の集落地の良好な自然環境と住環境を維持するための宇治市の施策について質問しました。

答弁 市街化調整区域の役割を守りつつ、都市計画法の地区計画やそのほかの手法の活用など、地域の住民と共に検討し、現状や課題の共有を図りたい。



黄檗公園野球場視察

かどや陽平 [角谷 ようへい] プロフィール

S55 京都市伏見区出身
H5 宇治小学校卒業
H8 木幡中学校卒業
H11 洛南高校卒業
H15 京都大学法学部卒業
同年 陸上自衛隊入隊
H17 レンジャー課程修了
H21~ 東京海上日動あんしん生命勤務
H31 宇治市議会議員選挙 初当選

▶宇治の防災を考える会 事務局長
▶宇治市消防団東宇治分団所属

【好きなこと】

家族・友人とキャンプ(一年中!)、杖道(剣道連盟3段)、料理と掃除、まんが収集、散歩

【好きな言葉】

上に立つな、前に立て!

ご意見はこちらまでお願いします

Eメール

yohei.kadoya@thevert.net

Facebook

F8で日々の活動発信中!

facebook.com/yohei.kadoya.3

ホームページ

https://yohei-kadoya.com/

